

東北大学大学院環境科学研究科

高度環境政策・技術マネジメント人材養成ユニット

博士課程前期 2 年の課程学生募集要項

(平成 1 8 年 4 月入学)

[一般]

[社会人]

[外国人留学生等]

平成 1 7 年 1 1 月

東北大学は、国際的な水準の教育と研究を行うことを使命としています。輝かしい伝統を生かし、多くの学部、大学院、研究所等が一体になり、総合的な知の創造の一大拠点として、大学院中心の研究大学として発展することを目指しています。

環境科学研究科では、総合大学である東北大学の「知」を結集し、持続可能な循環社会の基盤となる社会構造を確立するため、文系、理系という伝統的区分を越える総合科学として、新たな枠組みの環境科学を構築することを目指しています。多様な領域の効果的融合と新たな学問領域を創出することにより、環境全般に幅広い知識と理解力を有しつつ、深い専門性を持ち、国際社会においても活躍できる人材を養成することを教育の目標とします。このような目標に共感し、本研究科での勉学に強い意欲を持つ人からの多くの応募を期待しています。

研究科では、環境問題に関心を有するのはもちろんのこと、自然のみならず社会や人間にも興味のある人、発想が豊かで柔軟性に富み、新分野の開拓に挑戦できる人、広い視野と国際性を持つ人、論理的にものごとを考えられる人、理論と実践を自ら粘り強く展開していける人、倫理観と使命感を持ち、社会の中でリーダーシップを発揮できる人を求めています。

このような教育目標に加えて、研究科は、持続可能な発展を支える社会構造を確立するためには、「環境政策」「環境技術」「環境経営戦略」等の高度な環境マネジメント技術を獲得し、これらの知識を、企業の技術開発の将来展開や経営戦略、あるいは地域振興としての自治体の環境政策に活かしていくことのできる人材を養成することが必要であると考え、「高度政策・技術マネジメント人材養成ユニット」を発足しました。この人材養成ユニットでは、環境基礎科学と実践的環境マネジメント技法の双方を習得して、社会（市民、企業、自治体）の環境指向と実践が担える中核的人材を養成します。

1 募集人員

一般：若干名，社会人：6名，外国人留学生等：若干名

2 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び平成18年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第68条の2第3項の規定により学士の学位を授与された者及び平成18年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成18年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該大学の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成18年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成18年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (7) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成18年3月までに修了見込みの者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (8) 法67条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院においてその教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (9) 本大学院において、個別の入学審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものの

[注1] 社会人とは、企業・官公庁・学校等の経営者・技術者・教員・職員等として、原則として2年以上勤務した経験を有するもので、上記の(1)～(9)までのいずれかに該当するものとします。

[注2] 出願書類(6)～(9)によって出願しようとする方は、出願資格審査を行いますので、事前に環境科学研究科教務係に照会してください。

3 願 書 受 付

受付期間は、平成18年1月6日(金)から2月3日(金)までとします。

なお、土・日曜日及び祝日は受け付けを行いません。郵送により2月4日(土)以降に到着した出願書類は、2月3日(金)までの発信局消印のある場合に限り受け付けます。受付時間は、午前9時から午後4時30分までとします。(ただし、午前11時45分から午後1時までを除きます。)

受付場所(郵送先) : 東北大学環境科学研究科教務係

〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-20

電話 (022) 795-4504

- * 本研究科の一般選抜（人文・社会科学系群，環境・地理群のみ），外国人留学生等特別選抜（化学・バイオ群を除く）と本ユニットを両方受験することは可能です。その場合は，一般選抜・外国人留学生等特別選抜募集要項によって出願手続きを行った上で，本ユニットの出願を行ってください。

4 出 願 手 続

出願者は，次の書類等を整えて受付期間内に提出してください。

提出書類等	摘 要
入学願書及び履歴書	本研究科所定の用紙
成績証明書	在籍している大学の学部長が発行するもの。
卒業（見込）証明書又は学位授与（見込）証明書	出身大学の学部長又は大学評価・学位授与機構が発行するもの。
健康診断書	本研究科所定の用紙（ただし，本学定期健康診断（平成17年5月中旬実施）を受けている者は提出不要）
写 真 票	上半身脱帽像で出願前3か月以内に撮影した写真をはること。
検 定 料	30,000円（郵送の場合は，郵便普通為替証書にし，受取人指定欄等は記入しないこと。）ただし，本ユニットと一般選抜または外国人留学生等特別選抜を両方受験する者は，納入不要。
検 定 料 領 収 書	本研究科所定の用紙（2枚とも出願者氏名を記入すること。）
英語能力を判定できる資料	社会人は，TOEFLまたはTOEICの公式認定証、又は英語検定試験合格証など英語能力を判定できる資料を提出すること。TOEFLまたはTOEIC公式認定証を提出する場合は，平成15年1月1日以降に受験した公式認定証を郵送または持参のうえ，出願開始日から2月27日（月）正午（必着）までに本研究科教務係へ提出すること。

[注1] 前記書類のほか，学力を表す論文・報告書又は教員の推薦書等を願書に添えて提出しても構いません。

[注2] 社会人で英語能力を判定できる資料のない人は，別途英語能力の判定を行います。

[注3] 社会人入学志願者は，在職証明書またはそれに代わるものを提出してください。

- * 本研究科の一般選抜（人文・社会科学系群，環境・地理群のみ），外国人留学生等特別選抜（化学・バイオ群を除く）と本ユニットを両方受験する方は，この冊子の入学願書及び履歴書と写真票だけを提出してください。なお，入学願書には志望順位を記入してください。

5 選 抜 方 法 等

社会人志願者

試験日時：平成18年3月4日（土）～3月5日（日）に別表1によって行います。

試験場所： 詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

一般および外国人留学生志願者

試験日時：平成18年2月27日(月)から3月1日(水)までの間に、本ユニットだけを受験する方は別表2、本研究科の一般選抜(人文・社会科学系群、環境・地理群のみ)と本ユニットを両方受験する方は別表3、本ユニットと外国人留学生等特別選抜を両方受験する方は別表4にしたがって行います。

試験場所： 詳細については、受験票を送付する際にお知らせします。

6 合格者発表

平成18年3月8日(水)17時頃に環境科学研究科教務用掲示板に発表するとともに、入学志願者に対しては、文書にて合否を通知します。

7 入学手続等

- (1) 入学手続の詳細については、合格通知書を送付する際に通知します。
- (2) 入学時の必要経費は次のとおりです。

入 学 料 282,000円(予定額)

授業料前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

[注1] 授業料は、希望により前期分に併せて後期分の納入することができます。

[注2] 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい学生納付金が適用されます。

[注3] 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

8 長期履修学生制度の適用

入学者は「長期履修学生制度」の適用を申請することができ、審査の上許可することがあります。

「長期履修学生制度」とは、職業を有している等の事情[注1]により、標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了する[注2]制度です。

当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額になります。

長期履修学生制度の適用を希望する方には、別途申請方法等をお知らせしますので、願書の所定欄に必ず希望の有無を記載してください。

[注1] 該当者： 企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者
出産、育児、介護等を行う必要のある者
その他、本研究科が適当と認める者

[注2] 在学年限は4年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることとはできません。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意することはありません。

9 個人情報の取扱いについて

- (1) 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施，入学手続き，入学後の奨学・厚生補導並びに修学指導に関する業務を行うために利用し，この目的以外には利用しません。
- (2) 入学者選抜の過程で収集した個人情報は，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い，本人の承諾なく，第三者に開示・提供しません。
- (3) 本学環境科学研究科に出願した方は，上記の記載内容に同意したものとみなします。

10 注 意 事 項

- (1) 願書郵送の場合は，速達書留としてください。
- (2) 願書受理の通知は出しません。ただし，受理確認を希望する場合は，あて名記載の郵便はがきを同封してください。
- (3) 出願書類及び検定料は返付しません。
- (4) 健康診断書により，再診断を必要と認められた者に対しては，試験期間中に指示します。
- (5) 募集事務に関することは，環境科学研究科教務係に照会してください。
- (6) 郵便で出願書類を請求する場合は，住所，氏名，郵便番号を明記し，郵便切手200円をはった返信用封筒（角形2号，約34cm×約24cm）を同封してください。

平成17年11月

東北大学大学院環境科学研究科
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-20
電話 (022) 795-4504
環境科学研究科ホームページアドレス
<http://www.kankyo.tohoku.ac.jp>

社会人

別表 1

試験科目	試験日時	試験内容	備考
英語		英語の能力を判定する資料で評価する。	英語の能力を判定できる資料のない人は、別途英語能力の判定を行う。
小論文	3月4日(土) 9時00分~12時00分	その場で与えられた課題について書く。字数の制限はない。	
面接	3月4日(土)~3月5日(日)	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。	面接の時間については別途連絡する。

一般および外国人留学生等

別表 2 本ユニットだけを受験する場合

試験科目	試験日時	試験内容	備考
英語	2月27日(月) 9時00分~11時00分	英語 (TOEFL または TOEIC の公式認定証を提出した場合には、それらと筆記試験のいずれか高い方の成績を採用する。)	TOEFL または TOEIC の公式認定証を提出することができる。
基礎・専門科目	2月27日(月) 13時00分~14時00分	基礎・専門科目の中から1科目選択	科目については問い合わせること。
小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。字数の制限はない。	面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
面接	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を口頭で発表し、それについて質疑応答を行う。	

別表 3 本ユニットと本研究科の一般選抜を両方受験する場合

入試の群	試験科目	試験日時	試験内容	備考
人文・社会科学系群	外国語	2月27日(月) 9時00分~10時30分	本研究科前期課程一般選抜要項に基づき実施する。	面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
	専門科目	2月27日(月) 13時00分~14時30分		
	口述試験	2月28日(火) 9時00分~		
	小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。字数の制限はない。	
	面接(ユニット)	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。	
環境・地理群	英語	2月27日(月) 9時00分~10時30分	本研究科前期課程一般選抜要項に基づき実施する。	面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
	専門科目	2月27日(月) 13時00分~14時30分		
	口述試験	2月28日(火) 9時00分~		
	小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。字数の制限はない。	
	面接(ユニット)	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。	

[注1] 本ユニットの「英語」の評価は、各群の英語または外国語の成績を用いる。

[注2] 本ユニットの「基礎・専門科目」の評価は、人文・社会科学系群及び環境・地理群の専門科目の成績を用いる。

別表4 本ユニットと本研究科の外国人留学生等特別選抜を両方受験する場合

入試の群	試験科目	試験日時	試験内容	備考	
環境総合群 (理系)	英語	2月27日(月) 9時00分~11時00分	本研究科前期課程外国人特別選抜要項に基づき実施する。		
	基礎科目	2月27日(月) 13時00分~14時00分			
	専門科目	2月28日(火) 9時00分~12時00分			
	面接	3月1日(水) 9時00分~			
	小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。 字数の制限はない。		面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
面接 (ユニット)	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。			
人文・社会科学系群	外国語	2月27日(月) 9時00分~10時30分	本研究科前期課程外国人特別選抜要項に基づき実施する。		
	専門科目	2月27日(月) 13時00分~14時30分			
	口述試験	2月28日(火) 9時00分~			
	小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。 字数の制限はない。		面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
	面接 (ユニット)	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。		
環境・地理群	英語	2月27日(月) 9時00分~10時30分	本研究科前期課程外国人特別選抜要項に基づき実施する。		
	専門科目	2月27日(月) 13時00分~14時30分			
	口述試験	2月28日(火) 9時00分~			
	小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。 字数の制限はない。		面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
	面接 (ユニット)	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。		
マテリアル群	口頭試問	2月27日(月)~ 3月1日(水) 30分	本研究科前期課程外国人特別選抜要項に基づき実施する。		
	小論文	2月27日(月)~ 3月1日(水) 40分			
	面接	2月27日(月)~ 3月1日(水) 10分 口頭試問と同時に行う			
	小論文	2月28日(火) 13時00分~15時00分	その場で与えられた課題について書く。字数の制限はない。		面接の時間については別途連絡する。場合によっては、3月5日に実施する。
	面接 (ユニット)	3月1日(水) 13時00分~	小論文の課題について書いた内容を発表し、それについて質疑応答を行う。		